

小学校 自立活動指導案

広島県立教育センター
指導者 金本 倫子

1 学 級 自閉症・情緒障害特別支援学級

第3学年1名、第4学年2名 計3名

2 単 元 名 「見つけよう！自分に合ったおぼえ方～漢字 Ver. ～」

3 単元について

本学級は、4年生5名、3年生1名、2年生1名の計7名で構成されている。日々の授業に落ち着いて参加することができつつあるが、どの児童も学習に対してそれぞれに苦手意識をもっており、できないことに直面すると落ち込んだり、取り組むことをやめたりすることがある。特に当該学年で学習する漢字の定着に時間が掛かり、苦手意識が強く見られる。

各児童の実態は以下の通りである。（7名を2グループに分けて授業を実施する。）

児 童	実 態
A (第3学年)	<ul style="list-style-type: none">・新出漢字の学習に前向きで、丁寧にドリルに書き込んで練習している。・書くことは好きで、ノートに自分の考えを書くことができるが、既習の漢字を使って書くことはあまり見られない。・少しでもできないことがあると、「できない」と強く思い込み、再び取り組むまでに時間がかかる。
B (第4学年)	<ul style="list-style-type: none">・新出漢字の学習に前向きに取り組むことが難しい。・字形がとりにくく、筆記に不器用さが見られ、書くことに抵抗がある。・自分自身でも書けないことを気にしている。
C (第4学年)	<ul style="list-style-type: none">・新出漢字の学習に前向きで、丁寧にドリルに書き込んで練習している。・板書をノートに写すときには、覚えていない漢字でも自分で書こうとするが、時間が掛かることが多い。筆圧が強い。・学習面で時間が掛かることを気にしている様子が見られ、周りと同じようにできないときに落ち込むことがある。

本学級では週に1時間、時間における自立活動の指導を行っている。集団参加やコミュニケーションに関わる目標に関しては学級全体で行うこともあるが、基本的には本人の目標に応じて個別指導や小グループでの指導を行っている。これまでに学習に関する困難さについては、「見つけよう！聞き方のコツ」で「聞く」ことに関して小グループでの指導を行い、「話す人を見ながら聞く」「聞きそびれても最後にチャンスがあるので最後まで聞く」「分からないときは、周りをそっとうと見る」などコツを考えたり、試してみたりした。

本単元では、自立活動の内容項目「2心理的な安定」「4環境の把握」「5身体の動き」を関連付けて単元の指導目標を設定した。どの学習にも関わる漢字について自分に合った覚え方のコツを見付ける活動を通して、認知の特性について理解し、対応しようとする力や書字に取り組むときの基本動作を身に付け、学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる考える。

「自分に合ったおぼえ方～漢字 Ver.」は、様々な漢字の覚え方について取り扱う。小グループで様々な漢字の覚え方を試す中で、一人一人に認知面や書字面において不得意なことだけではな

く、得意な方法が違うことが認識でき、お互いに認め合いながら見つけていくことでより安心して自分に合った方法で学習に取り組むことが考えられる。

また、漢字の定着に時間が掛かりテスト等でうまく書けない経験を重ねて学習に意欲的に取り組めていない児童にとって一度だけではなく、いろいろ試してみる経験を積み重ねることを通して、その他の学習においてもできないこと、苦手なことにも自分なりに工夫をしてみようとする姿が期待できる。

指導に当たっては、漢字の覚え方に意欲的に取り組み、自立活動の指導を通して自己を肯定的に捉えることができるように特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編に示されている具体的な指導内容を設定する際の配慮事項より、次の三点に留意する。

①主体的に活動ができるように

単元の初めに、それぞれが漢字の学習に関して困っていることを出し合うことで、自分自身の課題を認識して活動できるようにしていきたい。また、漢字の覚え方についていくつか提案をする中で、覚え方に名前を付けることで覚え方のイメージをつかみやすくしたい。楽しい雰囲気の中で何度でもやり直しができるようにゲーム感覚で取り組めるようにしたい。

②自分に対して理解を深められるように

漢字の覚え方を紹介するときに「〇〇が得意な人に向いている方法」と得意な面からのアプローチとして伝えていくことで、自分自身の得意な認知の特性の理解を深められるようにしたい。また、好きな方法が必ずしも覚えることにつながるとは限らないので、方法と覚えられた量について確認をし、自分に合った方法を見つけられるようにしたい。

③他の学習場面でも使えることができるように

活動後に気付きを振り返る時間を設定する。活動に対して自分が「できた」「できなかった」だけではなく、その中で試した方法を他の学習でも使えないか考えたり、他の友達の意見を聞いたりする中で、自分の得意な方法を様々な場面でも使ってよいことに気付くことができるようにしたい。

4 単元の指導目標

児童	目標
A	・学習しやすい方法が分かり、自分なりに工夫しながら学習に取り組む。 【2心理的な安定(3)】【4環境の把握(2)】
B	・認知の特性に応じた学習しやすい方法や書きやすい方法が分かり、適切な方法を選択しながら学習に取り組む。 【2心理的な安定(3)】【4環境の把握(2)】【5身体の動き(3)】
C	・学習しやすい方法や書きやすい方法が分かり、学習に取り組む。 【4環境の把握(2)】【5身体の動き(3)】

5 単元指導計画(全4時間 本時3/4時間)

時	主な学習内容
1	○どんな覚え方があるか知る。 ・漢字を学習するときに困っていることについて思い出す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を覚えるときにどうやっているか思い出す。 ・漢字の学習でドリルやノートに書く以外にもいろいろな方法があることを知る。
2 3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな覚え方を試して、自分に合った覚え方を選ぶ。 ・制限時間の中で、選んだ方法で漢字を覚える。 ・ミニテストをして、漢字が覚えられたかどうか確かめる。 ・自分たちで考えた方法で漢字を覚える。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○選んだ覚え方を試した感想を交流する。 ・国語の時間や宿題でやった方法を振り返り、感想や気づきを交流する。 ・今後続けてやってみたい方法を発表する。

6 本時の学習

(1) 本時の指導目標

児 童	目 標
A	・試した方法の中から得意な面を意識して、自分がやりやすい漢字の覚え方を選ぶことができる。
B	・試した方法の中から理由を合わせて得意な面を生かした自分に合った漢字の書き方、覚え方を選ぶことができる。
C	・試した方法の中から自分がやりやすい書き方、覚え方を選ぶことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援（・）期待される児童の姿（★）評価（☆）		
	A	B	C
1 認知機能トレーニングをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「書く」ことの土台となる「知覚」の認知機能のトレーニングとしてそれぞれの課題に応じた「写す」プリントを用意する。 ・気持ちよく学習がスタートできるように枚数を調整する。 		
2 今日の活動とめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ◎ 自分に合ったかん字のおぼえ方をえらぼう </div>		
3 選んだ方法で漢字を覚える。 ①方法を選ぶ。 ②新出漢字を二つ覚える。(5分間) ③漢字学習以外の活動をする。(5分間) ④漢字ミニテストを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った方法を知るための学習なので、うまくいかなくても何度でもやり直しができることを伝え、安心感をもたせる。 ・ゲーム感覚でできるように、覚える漢字を箱の中からくじ引きのように引くようにする。 ・漢字学習をした後すぐに確認テストを行うのではなく、他の活動を入れることで、短期記憶だけではなく定着したかどうかを確認させることができるようにする。 ・鉛筆だけではなく書きやすい筆記具を選べるようにしておく。 		

<p>⑤ 答え合わせをする。 (①～⑤までを2セット行う。)</p>	<p>・宿題等でよく間違えている漢字を覚えるように設定する。</p>	<p>・苦手な活動に取り組もうとしている姿勢を認める。</p>	<p>・新出漢字の中から、画数の少ないものを選び、負担を減らしておく。</p>
<p>4 振り返りをする。 ・タブレットで方法、結果、気付きを記入し、発表する。 ・今まで体験した方法から1つやってみた方法を選択する。 ・気付きから今日の学習で分かったことをまとめる。</p>	<p>・「できた」「できなかった」だけでなく、取り組みやすさや覚えやすさ等について振り返られるように、今までの方法と比較させる。 ・全体で気付きを交流することで、それぞれの得意なやり方で学習に取り組んだらよいことに気付かせる。</p>	<p>★自分で絵を描くと楽しいけど、覚えるのは違う。たくさん書いた方が覚えられそう。</p> <p>★漢字たし算で組み合わせを覚えると覚えやすかった。たくさん書かなくても覚えられそう。それにマーカーで書くとやりやすいな。</p> <p>★2個だと絵を見て覚えられそう。漢字テストの前にも少しずつ練習してみよう。ぼくもマーカーで書いてみようかな。</p>	<p>☆試した方法の中から、得意な面を意識して、自分がやりやすい漢字の覚え方を選んでいる。</p> <p>☆試した方法の中から理由を合わせて得意な面を生かした自分に合った漢字の書き方、覚え方を選んでいる。</p> <p>☆試した方法の中から自分がやりやすい書き方、覚え方を選んでいる。</p>
<p>5 個別課題をする。 (時間があれば)</p>			<p>・次の時間まで国語の時間や宿題等で漢字の学習をするときに選んだ方法でやって、どうだったかを交流することを伝える。 ・他の場面でも自分に合った方法を使ってみた例を紹介し、漢字以外にも様々な方法が使えることに気付かせ、使ってみようという意欲を高める。</p>

(3) 準備物

- ・漢字カード、箱、漢字ミニテスト、筆記具（マーカー、ボールペン等）、タブレット

(4) 板書計画

見つけよう！自分に合ったおぼえ方～漢字 Ver.～

⑤ 自分に合ったかん字のおぼえ方をえらぼう

	えらんだ方法	りゆう
<p>今日のスケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プリント 2 めあて 3 先生の話 4 漢字おぼえゲーム <ul style="list-style-type: none"> ・えらぶ ・おぼえる ・ちがうこと ・ミニテスト 5 ふりかえり (6 こべつかだい) 	<p>体をつかうのがとくいな人には…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん書く ・そら書き ・声に出す 	<p>☺ からた たくさん書く</p> <p>書くことがとくい。</p>
<p>見るのがとくいな人には…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字たし算 ・ポイントに印をつける ・絵と合わせて ・絵を描く 	<p>☺ 見る 漢字たし算</p>	<p>書くと疲れる。見る方がやりやすい。</p>
<p>ことばがとくいな人には…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味を知る。 ・文章を作る。 ・なり立ちを知る。 	<p>☺ 見る 絵と合わせて</p>	<p>少ない方がおぼえられる。</p>
<p>聞くのがとくいな人には…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごろ合わせ。 ・歌にする。 	<p>⑥ おぼえ方は 人それぞれ ちがう。 とくいなところをつかって チャレンジしてみる。</p>	